



山桜

高階西中だより第23号

平成29年 3月24日

川越市立高階西中学校

一人一人が確実に成長した198日間！ 自信を持って進級しよう！！

～目指す「目標」をはっきり持ち、「誠実に」歩んでいこう～

校長 長井正邦

皆さんはこの一年間でしっかり成長しました。身体はもちろん、心も確かに成長しました。皆さんに、進級するにあたって考えてほしいこと、私が日頃考えていることをお伝えします。

**全員でコップ一杯ずつのぶどう酒を
注ぎ込んだはずなのに、
なぜ樽の中は「水」だったのだろう？**



「ぶどう酒が水になった話」です。

フランスの田舎で何十年も村のために尽くしてくれた老人が自分の産まれた故郷に戻ることになりました。そこで、村人たちがお礼に何かプレゼントをしようと話し合いました。村の名産であるぶどう酒を全員がコップ一杯ずつ持ち寄って贈ろうということになりました。村の広場の真ん中に大きな樽をおいて、それぞれがぶどう酒を持ち寄ってみんなでいっぱいになりました。いっぱいになったので封印をして老人に贈りました。老人は村人たちの思いがけないプレゼントを大変喜び故郷に帰っていきました。

老人が故郷に帰って三日後、樽をあけて飲んでみたところ、ぶどう酒が水に替わっていたのです。老人の喜びは、悲しみへと変わりました。

さて、どうしてぶどう酒が水になってしまったのでしょうか？（答えは、修了式の中で）

私はこの話から、村人一人一人が「ずるい人がいて決まりを破って水を入れるかもしれないが、他の人が水を入れても、自分は決まりを守ることを貫き、ぶどう酒を入れよう。」と考えたら、結果はどうだったのかわかると考えます。樽の中が水になってしまうことはなかったことでしょう。

これは非常に大切なことであって、他の人が正しくないことを考えようとも、正しいことは自分の責任で実行するということが大切なのです。このことは、将来の「自分の生き方のクセ」に影響してきます。

例えば、学校生活の中での「タイム着席」「洗心無言清掃」「語先後礼」なども同じです。皆さん一人一人の行動が、大きな力となり、学級・学年・学校の大きな力になるのです。新しい学年へと進級して、「高階西中学校の顔」「高階西中学校の柱」になる前に、是非考えてみてください。それぞれ三年生・二年生になった皆さんが、自分の目指すべき目標をはっきり持ち、一つ一つの行為に心を込めて誠実に生活することを期待しています。

皆さんはできます。必ずできます。期待しています。

平成29年度の四月。かけがえのない存在である皆さんが、かけがえのない命を大切に、一人も欠けることなくまたこの場所に集い、元気な顔を見せてくれることを願っています。

一年間、198日間。皆さんと素晴らしい日々を過ごすことができました。
本当にありがとうございました。

（24日修了式から）

平成28年度修了式「生徒代表の言葉」 一年間を振り返り、来年度への抱負を述べる

3月24日(金)、平成28年度修了式を行いました。学年や生徒会の代表が立派な発表をしました。

一年生代表 2組女子

みなさんおはようございます。

これから一学年を代表して一年間を振り返りと二年生への抱負を述べたいと思います。

私たちは様々な気持ちを胸に入学し、あっという間に一年が経とうとしています。初めての中学校生活に不安や戸惑いもありましたが、毎日とても楽しく笑顔が絶えない充実した日々を送ることができたと思います。

私たちは今年初めての行事をたくさん経験しました。どの行事も初めてということに不安もありましたが、クラス一丸となって本気で取り組むことができました。社会体験学習では各事業所で長いようで短い貴重な三日間を過ごすことができ、働くことの意義・働くことの大変さ・働くとはどういうことなのかなどを知ることができました。

また、学習面や生活面では、小学校とは違うルールの中で、仲間と協力し中学校のルールに沿って生活することができました。中学校ではタイム着席を行っていて、自ら時計を見る習慣ができました。しかし、声をかけられてから座る生徒や授業開始直前に教室に入ってくる生徒もまだ見受けられます。そこで、二年生では学級委員・班長を中心に声かけをし、クラス全員が時間までに席に着くようにしていきたいです。

さらに、休み時間と授業のけじめがつけられず、授業に集中できない生徒や寝てしまう生徒・私語をしている生徒がいます。二年生では、先生に言われてから直すのではなく、自分で気づく、また周りの人たちが注意するなどし、自分たちの力で直していきたいです。小学校では一人の先生がほとんどの教科を教えていましたが、中学校では教科ごとに教わる先生が違うことに戸惑いを感じていましたが、今では発言も多く活発に授業を受けることができています。取組の様子について個人差があり、集中している人の妨げになったり自分のために良くなかったりするので、今後は班長や学級委員とも協力して注意・呼びかけを行い、クラス全員が集中して授業に取り組める環境を作っていきたいです。

四月からは新一年生が入学してきます。私たちは常に手本とならなければいけない立場になります。部活動でも様々なことを教え、代々の伝統を受け継ぐようになります。

生活面では、後輩が入ってくるので気持ちや心にゆとり・ゆるみが出やすくなります。ゆるまないう、自分たちは先輩であるという自覚を持って日々を過ごしていきたいです。二年生では、タイム着席の徹底・授業態度の改善を抱負とし、良き先輩となれるようにしていきたいです。

二年生代表 3組男子

みなさんおはようございます。

修了式にあたり二年生を代表して一年間を振り返り、三年生に向けての抱負を述べたいと思います。

今年は、二年生最大の行事、修学旅行がありました。修学旅行では、まず校外学習の良くできた点と反省点をクラスで話し合うことから始めました。それをもとに修学旅行実行委員会で原案を作り、クラスでの話し合いを経て決まり・ルールなどを決定しました。それによって校外学習の反省点は改善することができ、一生の思い出に残る修学旅行になりました。これは、一人一人が自分の役割を果たし、仲間と協力することができた結果だと思っています。仲間・クラスの絆も深まりました。体育祭や合唱コンクールなどの行事でも一年生の反省点を改善し、自分たちの力で取り組むことができたと思います。これにより、この一年間でクラス・学年の結束力は高まったと思います。

学習面でも、来年度の受験を意識して授業に取り組む人が増えました。それに伴って、家庭学習ノートの内容も工夫されたものが多くなりました。僕は「ベストノート賞」に選ばれたことはありませんが、廊下に掲示されたノートを参考にして、少しでも近づけたらいいと思っています。提出物も期限内に出せる人が増えましたが、まだ期限を守れない人もいます。そこはこれから改善しなければならない点です。

二年生の一年間は、学習、行事、部活動など忙しくしているうちに、あっという間に過ぎてしまった印象です。しかし、失敗や反省を繰り返しながらも、絆を深め成長することができた一年間だったと思います。

気がつけば、高階西中で過ごせる日々も残り一年となってしまいました。来年の今頃、全員が笑顔でいられればいいと思っています。そのため、今できることを考え、目標に向かって努力することが大切だと思います。二度とない中学校生活を悔いなく過ごすため、一日一日を大切にしたいです。

もう間近に迫っている新しい学年になる準備をしっかりして、最高学年としていいスタートを切りたいと思います。

生徒会代表 2年2組女子

みなさんおはようございます。修了式に当たり、生徒会を代表して今学期を振り返りたいと思います。

一年生は小学生から中学生への成長に、期待と不安でいっぱいだったことでしょうか。どちらかという不安のほうが大きかったのではないのでしょうか。しかし、今は違います。皆さんからは緊張がほぐれ、この学校での生活を全力で楽しめる余裕が生まれました。その理由の一つに様々な行事を経験したことがあると思います。特に社会体験学習では働くことの意義や重要性だけでなく、責任感についても勉強できたと思います。その他にも、学習面や生活面などでたくさんの経験を経て一つ大人になり、物事に取り組む姿勢が変わりました。来年度は新入生が入学し、上級生として手本を見せる立場となります。時に優しく、時に厳しく先輩として導き、規律を守り、上級生としてふさわしい態度を背中で見せられるよう努力し、素晴らしい二年生になってください。

二年生は、中学校生活最大の行事、修学旅行を経験してたくさんのことを学べたのではないのでしょうか。日本の伝統的な文化に触れただけでなく、場に応じたふさわしい態度や、団体行動での自分の行動の責任など、修学旅行はたくさん大事なものを私たちに教えてくれました。ここで学んだことを普段の生活に生かしていくことが大切です。大きな山場を越えて、小さなルールを破ってしまうなど、油断している場面が多々見られます。四月になると最高学年です。受験勉強が忙しく、なかなか余裕はないと思います。しかし、一・二年生の良きお手本になれるよう、お互いに注意し合い助け合いながら、自覚をもって最後の中学校生活を送っていきましょう。

卒業生がその上の先輩から引き継ぎ、そして私たちに残してくれたものとは何か、もう一度考えてください。私は「最後までやり遂げる精神・何事も楽しもうとする心構え・友達を信じる心」だと思います。皆さん一人一人が目標をもち、高階西中の良い伝統を守っていけるよう精一杯がんばっていきましょう。

保護者・地域の皆様へ

この一年間、本校の教育活動推進に多大なる御理解と御協力をいただきましたことに、改めて御礼申し上げます。平成29年度も変わらぬ御支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。